



みのしま

令和4年5月23日
有田市立箕島小学校
第16号

「ありがとう」は「魔法の言葉」

箕島小学校は「気持ちの良いあいさつ」を推進しています。児童会活動や学級活動、道徳の授業、学校行事など、様々な機会にあいさつの意義や大切さを学習しています。

先日、4年生の出前授業にお越しいただいた有田市生活環境課の方が、「自分たちは有田市民にとってなくてはならない仕事をしているという誇りを持っている。『ありがとう』と言っていたときはとてもうれしい。」とお話しされたことがとても心に残っています。

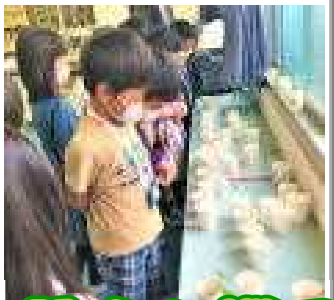
また、児童の下校時に児童玄関付近で立っていると、「いつも見守ってくれてありがとう」などと、子どもたちが声をかけてくれることがよくあります。地域の見守りの方にお礼を言っている姿も見かけます。

「ありがとう」という言葉は、たった5つの音で感謝の気持ちを伝えることができる「魔法の言葉」です。「ありがとう」と言ってもらえると、とても嬉しい気持ちになり、これからも頑張ろうというやる気生まれます。

新しい学級がスタートしてもうすぐ2カ月。クラスの中には気の合う子や、少し苦手な子もいると思いますが、何かしてもらったときは、笑顔で「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。そうすることで、誰とでもうまくやっていけるかもしれません。そして、仲良くなるかもしれません。



1年生挨拶の授業



低学年のリーダー2年生 1年生と校内を巡る



5月13日（金）、2年生が1年生を校内のいろんな場所に案内しました。

1年前に今の3年生に校内を案内してもらった2年生。立派に成長して、今度は案内する立場になりました。これからは低学年のリーダーとして、1年生を引っ張っていくことなのでしょう。

TEAM MINOSHO ★ ONE TEAM